



石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 櫻井 弘

令和5年12月8日

第8号

気付きを実践する

校長 櫻井 弘

1948年（昭和23年）12月10日、第3回国連総会において「世界人権宣言」が採択され、その採択日12月10日を「人権デー（Human Rights Day）」としました。これを受けて日本では、昭和24年から毎年、12月10日を最終日とした一週間を人権週間としています。

先月人権に関して、シドニーパラリンピックに車いすバスケットボール日本代表キャプテンとして出場された根木慎志さんの講演を聞く機会がありました。根木さんは小学校で柔道、中学校では水泳で県大会や近畿大会活躍していたそうですが、高校3年生の時に交通事故に遭ってしまい、それ以後車いすの生活を送っているという方です。講演は「障害者」について、ご自身の体験から感じたことや思ったことを、多くの人にも考えてもらいたいという内容でした。そのお話から1つのエピソードを紹介しますので、皆さんが当事者だったらどう受け止めどう行動するか考えてみてください。

車いすを利用する人が、コンビニでコーヒーを買おうとドリンクの並んでいる冷蔵庫前に行き、買いたいコーヒーを見つけ扉を開け取ろうとしたが手が届かなかった。それでも自力で何とかしたいと思い何度かトライしたがとれなかったので、近くにいたお客さんに援助を求めため声をかけた。「すみません。コーヒーを取りたいので手伝ってもらえますか？」、声を掛けられた人は「いいですよ。」と笑顔で答え、目的のコーヒーを取ってくれた。その後「ありがとうございます。」「どういたしまして。」など挨拶をしてレジに向かった。

この車いすの方は根木さん本人で、取ってほしいコーヒーの銘柄を言う前に、目的のコーヒーを取って渡してくれたことから、『最初からずっと見ていたのに、なんでこちらから声をかけるまで、知らん顔（見て見ぬふり）をしていたんだろう。』と感じたそうです。そして、障害があるということは想像していた以上に大変なことだと思いつつも、人の手助けをするという「素敵なこと」を躊躇せず、誰もが気付いたら進んで行動（実践）できるような社会にしたいと思ったそうです。

皆さんも日々の生活で、似たような場面に遭遇した経験があると思います。障害ということに関係なく、教室や廊下で困っていきそうな人や、物を落としたことに気付かず行ってしまいそうな人を見たとき、電車やバスで自分が座っている近くに、高齢の方や妊娠されている方を見つけたときどうしますか。『必要な声をかけるべきだ』と石中生なら誰もが考えるでしょう。そんな石中生にはもう一歩進んで、この「あたりまえだけでも素敵なこと」に気付いたら、即、「行動（実践）できる人」であってほしいと願っています。

2学期、そして今年（2023年）も残すところあと少しです。大きな節目を迎えるときは、それまでを振り返り、次の目標を決めるのに適しています。また、これからますます寒くなりますので、心身ともに健康でいられるように、日々の健康管理には十分に気を付けてください。